

# 目次

<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査項目.....	1
(3) 調査の方法.....	1
(4) 調査実施機関.....	1
(5) 調査回収状況.....	1
2. 調査回答者の特性.....	2
3. サンプルング.....	3
(1) 層化.....	3
(2) 標本分配.....	3
(3) 抽出.....	3
(4) 抽出結果.....	4
4. 調査地点一覧.....	5
5. この報告書の見方.....	9
<b>調査結果</b> .....	<b>10</b>
1. 電力の小売全面自由化後における道民の電力会社選択動向等について.....	10
[1]世帯状況.....	10
[2]同居者.....	12
[3]電気料金の値上げによる影響.....	16
[4]新しい電力会社への切り替え.....	18
[5]電力会社を切り替える上での最重要事項.....	20
[6]新しい電力会社には切り替えない理由.....	24
[7]電力会社を選ぶ際に参考となる情報提供の取組について.....	26
「電力の小売全面自由化後における道民の電力会社選択動向等について」の調査を終えて.....	29
2. 自転車の利用実態等について.....	30
[1]自転車利用の目的.....	30
[2]自転車利用者のマナーについて.....	32
[3]「自転車安全利用五則」の認知度.....	34
[4]「自転車運転者講習」の認知度.....	36
[5]自転車利用のルールについて学ぶ機会の有無.....	38
[6]学んだ機会（媒体）.....	40

[7]自転車利用のルールを学ぶための機会は十分か.....	44
「自転車の利用実態等について」の調査を終えて.....	46
3. がん対策について.....	47
[1]「がん」についての印象.....	47
[2]がん検診の受診率向上のために必要な対策.....	49
[3]がんに関する情報の入手先.....	54
[4]がんになっても働き続けることができる社会づくりのために必要なこと.....	59
[5]「緩和ケア」についての認知度.....	63
[6]療養生活の場として希望する場所.....	65
[7]がん対策を進める上で重要と思う取組.....	67
「がん対策について」の調査を終えて.....	73
4. 人とヒグマの共存に関する道民の意識について.....	74
[1]ヒグマとの接触の可能性のある行動の頻度.....	74
[2]過去5年間にヒグマについて経験したこと.....	78
[3]あなた自身で行っているヒグマ対策.....	82
[4]北海道のヒグマに関する意見について.....	86
[5]ヒグマに対する考え方.....	91
[6]今後さらに力を入れるべきヒグマ対策.....	93
[7]特に重要と考えるヒグマ対策.....	97
「人とヒグマの共存に関する道民の意識について」の調査を終えて.....	103
5. 森林・森林づくりに関する意識について.....	104
[1]森林に期待する働き.....	104
[2]森林づくりに関わる費用負担.....	111
[3]期待する道産木材と木製品の利用.....	114
[4]道産木材や木製品の利用が広がることで期待される効果.....	119
[5]森林認証制度やロゴマークの認知度.....	124
[6]「木育」という言葉の認知度.....	127
[7]参加してみたいと考える木育活動.....	129
「森林・森林づくりに関する意識について」の調査を終えて.....	134
6. 地域づくりについて.....	135
I 安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて.....	135
[1]人口減少についての考え.....	135
[2]現在住んでいる市町村に今後も住みたいか.....	137
[3]日々の買い物への満足度.....	139

[4] 実際に持つつもりの子どもの数が理想とする子どもの数に比べ少ない理由.....	141
「安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて」の調査を終えて.....	152
II 環境を活かし、個性と活力に満ちた地域づくりについて.....	153
[1] 今後整備が必要と思う社会資本の分野.....	153
[2] 限られた財源の中で社会資本整備を進める時の考え方.....	158
[3] 今後社会資本整備を進める上で重視すべき視点.....	160
「環境を活かし、個性と活力に満ちた地域づくりについて」の調査を終えて.....	164

## 資料編

クロス集計表.....	165
調査票.....	231
世論調査実施状況（昭和 40 年度以降）.....	251